

令和元年度行政評価 事務事業評価シート(平成30年度実績)

事務事業コード	030401110	予算コード	01021440	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B		
事務事業名	障害支援区分認定審査会運営事業			正規職員数 0.15	国庫支出金 0	有効性	B	障害福祉サービス(介護給付費)を利用する上で障害支援区分の認定は必須である。客観的に障害支援区分の認定をすることは、適切なサービス支給決定を行うために必要である。			
担当課	地域共生推進課			嘱託職員数 0.2	府支出金 0	効率性	C				
根拠法令等	法定受託以外の法令			臨時職員数 0	市債 0						
	■法律・政令・省令 ■条例・規則			歳出(千円)	その他 2,246	妥当性	B				
	障害者の日常生活及び社会生活を支援するための法律(障害者総合支援法)、泉佐野市田尻町障害程度区分認定審査会共同設置規約			人件費総額 2,157	一般財源 11,220						
					減価償却費 0	受益者負担	該当なし				
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	13,466	緊急性	A			事務事業実施内容	
実施手法	市直営			市民1人当たりコスト(円)	134	公的関与	A			障害程度区分認定審査会を24回開催し、316人の区分認定を行った。	
対象	活動指標			H30実績							
特定の市民	対象数	316		障害支援区分認定申請者数	331.0	実施主体・委託化	A				
18歳以上の身体障害者、知的障害者、精神障害者			障害支援区分認定審査会開催回数	24.0							
事業の内容	障害支援区分認定基準に照らして審査及び判定を行い、市が支給要否決定を行うにあたり意見を聴く。					他の事務事業との関連	A				
			成果指標	H30実績	透明性	C					
			障害支援区分認定者数	331.0	財政健全化計画	該当なし					
					財政健全化の取組	該当なし					
			コスト指標	H30実績	改革改善プラン達成度	該当なし					
事業の目的	障害福祉サービスの必要性を明らかにするため、障害者の心身の状態を総合的に表す区分であり、市においてサービスの種類や量を決定する際に勘案する事項のひとつとして用いる。			申請者1人あたりの経費	40,683.0						